

報 告 書

下記により、会議の概要を報告致します。

会議等：タウンミーティング（大山口小学校区）

日 時：平成27年11月15日（日） 午後7時00分～午後9時00分

場 所：大松自治会集会場

出席者：市民 14人

白井市 10人

市長、総務部長、市民経済部長、教育部長

秘書広報課長、市民活動支援課長

市民活動支援課職員2人 秘書広報課職員2人

市長挨拶

皆さん、こんばんは。市長の伊澤でございます。本日は大変お忙しい中、そしてまた夜分にもかかわらず、タウンミーティングにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様方には、日ごろから市政の推進に多大なるご尽力を賜っておりますことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

タウンミーティングは、平成23年、私が市長に就任して以来、ずっと続けておりまして、ことしで5年目となりました。当初は、複合センターごとに開催をいたしまして、その地域、複合センターの地域の方々と主に意見交換をしまいたったわけでございます。

昨年は、現在策定中の第5次総合計画策定に当たって、総合計画の策定のための皆さんの意見を伺ってまいりました。そして、今年は小学校区会でタウンミーティングを計画させていただきました、今日で3カ所目ということでございます。

この大山口小学校区は、昭和54年の千葉ニュータウンの本格的な入居の開始の前から、既にこの大松地区により、入居された区域、そしてベリーフィールド、西白井1丁目から4丁目のように若い世代の多い区域と、大変特色のある地域になっています。そのような中、この地区からは、あらかじめ四つのテーマをいただいております。このテーマについては、後ほど、私のほうから報告をさせていただきますが、今日皆様にお配りしてあるところでもございます。かいつまんで、私のほうから一つ一つ皆さんに説明をさせていただきたいと思っております。

まちづくりは、白井市行政だけでは必ずしもできるのではなく、皆様方のご協力そしてご支援、そして協働と言いますか、市と皆様方が一緒になって、よりよい住みやすいまちづくりをつくっていかねばならないと思っております。皆様方と力を合わせて、住んでよかった、住み続けたいまちを一緒につくっていきたいと思っておりますので、どうかこれからもご支援よろしくお願いいたします。

す。

そして、今日のタウンミーティングが、市にとっても皆様方にとっても、実りあるタウンミーティングになることを心からお願いをいたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

市出席者の紹介（秘書広報課長より紹介）

市民出席者の紹介（自己紹介形式）

市長【テーマ1】市民への情報提供の在り方について

あらかじめいただいた4点について、資料をお配りしてありますが、簡単に報告をさせていただいて、意見交換、指摘をしていただければということで、これ以降、着眼点を話させていただきます。

それでは、第一点目の市民への情報提供のあり方です。病院やケアホームなど、市の施設ではない部分について広報紙やホームページなどで、市民に情報提供がなされていない状況です。また、総合公園などは、事後報告ということが多いです。市民にとって情報共有は大変重要であり、まして協働をしていく上には、大変重要な要素であります。それについてどう考えるのかということでいただいています。

まず、市民の情報提供のあり方についてですが、市では積極的な情報提供の推進への取り組みを考え、情報提供施策の推進に関する基本方針を定めています。主に市の施策や事業、各種制度など行政情報を中心に、情報の提供に努めることとしております。しかし、これらは市が行う事業を積極的に提供していくという趣旨のもので、例を挙げていただいた病院やケアホームなどは、民間の施設ですので、基本方針には含まれないものとなっています。市民生活にも深くかかわる施設ですので、そういったものは積極的な情報提供に、努めていくよう検討してまいりたいと思っております。

・市民

介護施設や病院は、市民生活に密接な関係ですので、もっと情報が欲しいです。介護施設も、在宅からいろいろな種類があると思います。できればもっと的確に、この白井市内のいろいろな情報を出していただきたいなと思います。

特に今建設中のところや、前に建設された介護施設アンスリールへ親を入れたいという人がいます。しかし、なかなか職員が足りなくて、場所はあるが、入居者募集はしていないというような状況だと思います。そういうことは、個人的に聞くよりも市から情報を得たほうが良いと思います。

・市長

オープンのお知らせではなくて、包括支援センターが中心となって、例えば、こういう施設が、デイケアをやっています等、市の施設以外についても、情報提供を努めていくということで、検討を進めてまいります。

・市民

病院等の建設がスタートする時は、まず市が情報を把握するのですか。それとも県が先に把握するのですか。

・市長

病院は県の許可にあります。

ただ市にも、市の地域に建つわけですから、協議が必要です。そばに老人保健施設と特別養護老人ホームが併設されますが、それは市が介護保険事業計画の中で位置づけて、逆に市が誘致しています。

・市民

計画の段階で把握されていて、建つのか建たないのかどちらになるかわからないような段階から出しても、かえって混乱します。情報を出すタイミング、内容もあわせてご検討お願いします。

・市長

市民生活にとって病院もしくは介護等は大変重要な施設ですので、十分お知らせに値すると思います。早速取り組んでまいりたいと考えております。

・市民

以前、大松で問題になったのは、民間の施設を借り上げて特殊学級等を地元は何の説明もなく、県の許可を得たから始めるということでした。地元に対して説明を先にしておいて、「こういうものをつくりたいのですが、どうですか」というような、手続を踏むようにしていただきたいです。

・市民

これは、設立された方の認識の問題だと思います。それによく似たものは、1回計画があって、計画倒れになったのですが、それは事前に地域に話がありました。しかし、県の許可というものに関して、市はものによって把握しているのか、いないのかがわかりません。

・市長

その施設の性格や面積によるのですが、通常は市に県から連絡がほとんどの場合であります。その場合は、市として、地域への説明等は行っています。

何かもしもトラブルがあれば、市に相談していただければ、一緒になって解決をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

・市民

公営墓地ができるという話もありまして、鎌ヶ谷市は当然関知しているわけですが、白井市にお聞きしたら、白井は全く関知していないということもありました。

県住宅や今のような民間の施設を借り上げて云々とか、隣の市町村でのいろいろな案件というのが、ある日突然できるという形になってきています。

・市長

県住宅は、ちょうど出口がこの通りになりますから、大山口の地域の方々とは協議されていると思います。

・市民

計画倒れなのか、もうその後、音沙汰がないのですが、看板だけは立っています。それも何か判子を押してくれと、いきなりそういう話から入ったので、説明会をやってもらったことがあります。そういうことで、白井市の管轄の外にも絡んでくるようなお話もあります。

・市長

市もアンテナを高くして、市民にとって重要な情報であればお知らせするように、それは広報や自治会長さんにお知らせするなど、いろいろな方法はあると思いますので、今までも情報は出してきましたが、さらに柔軟にやっていければと思っています。

・市民

10年、15年も前ぐらいの前会長の頃から、いろいろ話題になったり、協議したりというような話もあるのですが、金山落しは一向にドブ川の状況が続いています。

・市長

複雑で流域はもっと上の流山の方であり、田んぼの用水路整備と一緒に河川改修が、かなり先の話で直接金山落しではないのですが、国営事業で動き始めました。既に2回、首長、市長が集まって、農林水産省の説明を受けています。

・市民

8年ぐらい前に鎌ヶ谷と折衝をして、鎌ヶ谷市役所で会合を年に2回ぐらいやっていました。内容はその河川の問題で、鎌ヶ谷の給食センターがあるあたりは全部浄化槽がなく垂れ流しでしたので、それを早くつけてくれという話をずっとしていました。今はもう一切話し合いはないので、そういうものは地域とやった方がいいと思っています。

第一小学校の生徒が、年に1回EMだんごを落としてヘドロはかなり減りました。

・総務部長

鎌ヶ谷も下水や合併浄化槽等の整備をしていただいて、以前よりは水質は改善していると思います。それと、子供たちがEMだんご等、いろいろやってくれています。

狭い水路でしたので、本整備はできないまでも西白井の区画整理を行った時に、その部分は大きな水路に川が入っていると思います。特に接続する上流については、鎌ヶ谷市で、素掘りをしてもらって、多少流れは改善をしているはずですが、しかし、素掘りなので、時間がたつとまた崩れてくる可能性はあります。自分が担当していたころなので、もう既に5年以上は経っていますので、また状況を見てということになると思います。

・市民

今回、県営住宅が建つことに合わせて、改修するように言ったのですが、県営住宅側の堤防だけをつくったということで、基本的なところは全く変わっていません。ですから、鎌ヶ谷としては、あれは完全に放置されているのではないかという気がします。夏場は非常に匂います。

・市長

とりあえず、白井市のタウンミーティングで、この地区からこの話が出ましたということで、鎌ヶ谷市にお知らせしますので、何かアクションがあると思います。

・市民

国土交通省の管轄だと思うのですが、国道 464 号線の歩道もずっと草が生えています。この前、子供がその草でひっくり返ったので、9 月から草を刈ってくれと何回電話しても、予算がないというのです。前は年に春秋の 2 回やっていました。去年から予算がないから年に 1 回しかできず、予算が終わってしまったのでできないと言っていました。住民に迷惑をかけており、通学路にもなっています。最近のお役人さんは責任を持って仕事をやろうとしないので、国土事務所に文句を言ってもらいたいです。

・市長

関係機関にも一つの大きな成果だと思いますので、今の意見を伝えさせていただきたいと思いません。

・市民

白井市の所轄ではないかもしれませんが、国道 464 号線沿いの新川に歩いて向かった場合、覆うように草木が茂っています。特に通学の人も含めて、夜真っ暗で非常に危険性があると思います。

・市長

安全面を優先しますので、市の場合は、同じく予算がなくても、本当に危険性があれば何とか工面してやるということも今までしています。同じ行政ですから、何かやり方があると思いますので、市民が困っているということは言わせてもらいます。

・市民

道路にはみ出している木があり、ひどいところは2メートルぐらい道路に出てしまっています。柿や柚子やミカン等は腐ってみんな道路へ落ちて、本当に汚くなります。環境課にお願いし、地主さんに切ってくださいと依頼するように言っているはずですが、空き家の問題と同じで、地主は無視をしているわけです。市で税金は取っているのですが、何か少し強硬に地主さんに言ってください。

・市長

今、国でも問題になっているのですが、その危険な木も全部個人財産ですのでなかなか難しいです。法律はだんだん整備されてきましたので、それに基づいて市で条例ができています。白井市も空き家が増えてきています。

・市民

空き家はこの地区だけでも、20戸ぐらいあります。

空き家というのは、庭の草が3年くらいすると、人の背丈以上になっていますので、火災の問題等が怖いです。

・市長

危険な空き家もあるし、逆に活用できる空き家もあります。何とか活用できるものは活用できないかということで、来年から少しやっていこうと思っています。そこに合わせて危険な木などの対策も進めます。市で業者を頼んでやって、そのお金を請求するというのが、一番簡単でいいのですが、なかなか交渉がまとまらないようなことがあります。

市長【テーマ2】災害等有事の際の個人情報を含む情報提供について

2 番目ですが、火災が発生した際の場所の問い合わせについてです。問い合わせたけれども、個人情報の関係等で、教えてくれなかったということで、火災の件も含めて、災害もありますので、災害が発生した場合、市民にそういう情報をどうやって提供するのかということの質問です。

火災、地震、風水害などさまざまな災害が発生した場合は、その災害の規模や地域ごとに防災行政無線の運用マニュアルに沿って緊急放送として行い、同時にその内容を白井メール配信サービス、市のホームページ防災ポータルサイトのほか、防災行政無線の再聴サービス、これは0120-980-775です。

また、大規模な災害に備えて、携帯電話各社が提供する緊急速報メールを導入して、気象庁が配信する緊急地震速報や白井市が緊急情報等を市内全域に即時に配信できるメディアメールサービスなど、多様な情報ツールを活用し、情報伝達再生の充実に取り組んでいるところです。

なお、住宅火災などの個人にかかわる災害情報については、消防署と同様に公表しないこととしております。火災現場につきましては、消防署に問い合わせをしますと、消防活動に支障を来す恐れがありますので、印西市消防本部ホームページ及び消防テレフォンサービス、これは0476-45-5119で随時情報を提供しておりますので、そちらに確認をお願いいたします。

・市民

消防車が火災で出動した時に、近くにとまったので消防署へ電話したのですが、個人情報の関係で教えていただけませんでした。火災が起きているということは周りに知らせないといけないわけです。知らない人、ひとり住まいで寝ている人がいるかもわからない、いろいろな状況があると思います。それが個人情報で一括して全部無理というのはおかしいです。

・市民経済部長

現在、火災等の発生の場合につきましては、個人情報の問題がありまして、あらかじめ消防署から放送等でお知らせはしておりません。しかし、こういったお問い合わせがあった場合につきましては、何丁目何番あたり等はお知らせしているところです。

・市民

防災無線で以前は何々地区で火災が発生しましたと放送していたと思うのですが、現在は行っていないのですか。

・市民経済部長

確か10年以上前は、防災無線で火災がどのあたりで発生したとお知らせしていたのですが、個人情報の問題等もありまして、現在では、市の防災無線からはお知らせしておりません。市民の方から市役所ないし先ほどの消防署の案内サービスへご連絡いただいた場合につきましては、火災の発生状況をお知らせしています。

・市民

防災委員をやっており、実際に緊急の事態が起こった場合には、個人情報に当たるような情報が必要です。地区の2,000世帯に手紙を出して家族構成を教えてもらい密封して判子を押し金庫へしまつて、緊急時開けさせてもらう条件としています。2年に1回やっており、その都度シュレッターしております。

柏市は家庭の情報まで出していると話を聞きました。自治体ごとに対応が違うのがおかしいです。緊急事態が起こったとき、家族構成がわからないと、救える命も救えません。阪神大地震の時、淡路島では家族構成を把握していたので、90何パーセントの救助率があったと聞いています。ぜひ情報提供を検討していただきたいと思います。

・市民経済部長

個人情報の収集につきましては、ご本人の承諾があれば、自治会にお知らせすることも、法律の改正で可能になりました。従いまして、もし災害があった場合に要援護者を把握する為、今年度市民安全課で、アンケート調査を行います。アンケートの内容につきましては、災害等があった場合に、「氏名、住所等を自治会や消防署にお知らせしてよろしいか」という内容になります。その中で、承諾いただいた方につきましては、自治会や消防署にお名前等をお知らせする予定です。

・市民

そのアンケートの内容を市民安全課で考えるのではなく、みんなに意見を聞くべきではないですか。

・市民経済部長

今、市民安全課と申しましたが、支援を必要とする人というのは、福祉関係の方が多くいらっしゃいますので、福祉部門の在宅支援センター等が情報を交換しながら、具体的な質問内容につきまして検討を進めています。

・市民

エリアメールは白井市から発信されていますか。鎌ヶ谷市のエリアメールは、入るのですが、白井市のエリアメールが届きません。

・市民経済部長

随時配信しております。

・市民

防災無線の再聴サービスの浸透が低いです。いろいろ改良していただいているが、防災無線というのはやはり聞こえにくいです。ステッカーを作って全世帯に配るぐらいの方がいいと思うのですが、いかがでしょうか。

・市民

広報を使うのであれば、他の消防関係、警察関係等の情報も全部知らせてほしいです。

・市長

一回紙面を使って、防災関係の一覧コーナーを作ります。年明けになってしまうかもしれませんが、できるだけ早くやらせていただきます。

市長【テーマ3】子供の居場所づくりについて

3点目ですが、子供の居場所づくりということで、以前から自治会の協力をいただいて、中木戸公園で子供のボール遊び等をしてきた経緯があります。この点についての問い合わせです。

中木戸公園、競技場、広場を活用し、放課後に子供たちのボール投げ等、野外遊び場の提供につきましては、大山口小学校支部の皆様競技広場の鍵の開閉についてのご協力はいただけると伺っております。しかし、開放する場合には子供たちの安全面等での対応が必要なので、放課後子供教室としての位置づけで、安全管理委員の配置を含めた体制を検討しております。今後、検討していく体制の中で、引き続きご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

・教育部長

競技広場の鍵の開閉についてご協力いただきまして、ありがとうございます。

中木戸公園の開放につきましては、子供たちが安全に遊ぶということを考え、安全管理委員等の配置等を今後検討していくという方向です。ぜひとも、子供たちがもっと遊べるようにということで、検討会を開きますので、その時にはご協力をお願いします。

・市民

この中木戸公園に関しては、放課後子供教室ではやらないということです。前に、この自治会全体で考えたのは、西白井1丁目、2丁目を外して、他の五つの自治会で1カ月ずつ、鍵の持ち回りと管理をやろうとしましたが、教育長からの返事がなかなかもらえなくて、やっと管理委員が決まりました。

安全面ばかり言い過ぎて、子供が成長するときに、運動をしなさ過ぎると思います。成長する段階でケガはします。ただ、ケガをする時に大きなケガにならないよう、もっと周りであつたかく見守ってやればよいと思います。大きいボールを1個渡せば、子供たちが自然に遊び方を考えます。その創造性がすごく大事ではないかと思います。

過保護にバリケードで固めても、交通事故は多いし、子供たちに対して、こういうことはダメと叱ってやる大人がいないとダメだと思います。

環境建設部長に以前言ったのは、公園はもう少し何もない芝生の場所があればいいと思っています。

ただ、これは有料で貸しているところですから、これはこれでいいと思います。鍵の管理だけは近くの自治会で持ち回っても結構ですが、皆さんと話した段階では、なかなか安全対策、ケガをした時に責任を負わされるという話もありました。早く何でも結論を出してやった方がいいのではないかと考えています。

・教育部長

何もないところで、子供が遊べるのはお互いの人間関係を作るという意味では、すごくいいことだと思います。そもそも放課後子供たちがどこかで集まって遊ぶという機会もなかなか今持てないのも事実です。みんなで遊ぶことによって、人間関係も縦の社会や横のつながりも出てきますので、そういったこともできるだけ学校ともっと話をしていきたいと思っています。

・市民

白井市では小学校の1年生に上がるときに、鉛筆は何を使わせていますか。

・教育部長（タシロ）

やわらかい鉛筆を使うようにBとかです。

・市民

全国で非常に子供の筆圧がないということで、問題になっています。それで、埼玉のある市では、4Bか6Bです。白井はまだ2Bなのですが、Bじゃないです。キーボード、スマートフォンでタッチすれば、通じる時代なので、子供の筆圧がないです。昔はHBだったのだから、そういう意味でもう少し考えていった方がいいと思いました。

・市民

年寄りの居場所づくりについて、市としても本気になって取り組んでもらえればと思いますので、よろしくをお願いします。

・市長

この地域だと、複合センターでサロンが始まりまして、市としては、清戸にある福祉センターや各地域の複合センターの和室、憩いの家という施設があります。地域ごとに自治会単位等で行うのが一番いいと思うのですが、市でやる部分と地域でやる部分と、うまく併用していければいいと思います。

・市民

その時に、地域でやると借り料等の金がかかります。そのお金はどうしますか。

・市長

小学校区単位の中で、その地域の特色を生かしたコミュニティーが必要だということになれば、そこに活動費、地区計画のように、地域ごとにどんどん自由に使えるような予算配分というのも考えていこうと思っています。

・市民

今複合センターと言われましたが、エリアが違うと思っています。大山口の人間は清水口には行きません。

地区社協の拠点を清水口小学校へ置くと言ったときにもうやめます。

・市長

大松もそうですか。

・市民

サロンがあるのを知らないです。大松はボランティアで月に2回活動しており、自治会としては、ここを無料で使ってもらっています。それから、必要に応じて印刷なんかもあれば、印刷機も使っていていいという形で、自治会の直接活動ではないのですが、ボランティアグループに対して、そういう提供をしています。

・市長

市でやる部分と地域でやる部分と二つあった方がいいと思います。人がたくさん集まった時には、市の施設を利用する等、うまく連携し合って、いわゆる協働するのが良いかと思っています。

・市民

場所が離れていると、高齢者によってはなかなか遠いということになるので、我々としては、大松のこの集会場でやれるような活動ができればなと思っています。

・市長

この地域でやるのが一番いいと思います。全体の時は大きな施設を使い分けてもらえればいいと思います。

・市民

市バスの本数があまりにも少ないのですが、本数を増やすことはできないのですか。

・市長

当初、ナッシー号というのは、交通の空白地帯や交通弱者の為に始めました。

ナッシー号がないところは、福祉センター専用のバスを使っていたのですが、いろいろな方々から駅に行けない、病院に行けないかという話になって、それを膨らませたら、さらに中央駅に行ってもらいたい等、結局4台しかないものですから、前は一回りで30分ぐらいだったのが、1時間10分ぐらいかかっています。そうすると、当然今まで1時間に1本だったものが、2時間に1本になってしまうということです。

今150円を稼ぐのに大体500円ぐらいかかっており、その差額は税金で埋めていますので、もう少し利用者を多くしてもらえれば、その分をまた増やせるということもあります。解決法は二つあって、150円、100円の運賃を倍にするか、もしくは税金をもっと投入するということです。その場合は市民の皆様の合意がないといけません。予算には限りがありますから、例えば教育や福祉等に使っていたものをまわす等、そういうやりくりになるということです。

合併案が出た時に財政が厳しくなる話はしたのですが、これからは市民と行政と一緒にあって、ここを手厚くしようと、ここは我慢しようという、そういうことをみんなで協議していく時代になってきたと思うのです。

・市民

乗る人は相変わらず少ないのでしょうか。

・市長

5、6年前までは、年間9万人ぐらいでした。3年前ぐらいから鎌ヶ谷総合病院に行きますという理由で、新鎌ヶ谷駅にとまれるようにしてみたら、今年間16万人ぐらいになり、5割以上増えたことになります。

市長【テーマ4】大松交差点の安全対策について

4点目の大松交差点の安全の確保でございます。

これは、特に富士地区の中学生が自転車通学で、マクドナルドの前の道にたまり場がなく、自転車が渋滞してしまい大変危険な状態なので、何とかならないのかという内容です。

これについては、昨年、平成26年度にPTAや警察等、いろいろな関係者からなる通学路の安全推進協議会を発足して、通学路の安全対策に取り組んできました。そして、平成26年にあの交差点のスクランブル化の要望をいただいております。スクランブル化できないのか、いろいろ検討してきましたのですが、警察でできないという結論が出ました。その後、大松の交差点から西側にも信号の設置要望が来ています。これについても、警察と協議し、大松の交差点との距離が250メートル以内ですと、基本的には道路交通法でつかないということでした。

ただし、歩道については検討できる余地があるということで、これからは歩道について警察と協議、打ち合わせしていきます。

・市民

信号が近くにある交差点はたくさんあります。警察は、それを法律だと言うのであれば、外さなければいけないので、むちゃくちゃな理論です。

・市民経済部長

印西警察署に行って話を聞いてまいりましたので、経過について、まず、お話しさせていただきます。

まず、スクランブル信号につきましては、実は印西市においても、市民の方からの要望がございまして、スクランブル信号化したところもあるということです。しかし、スクランブル信号は、車から見ても、歩行者から見ても、結構、長い時間待つこととなります。赤にかわる直前に車や人間が渡ってしまうケースが多々あり、死亡事故につながる可能性が高いので、逆に市民から、元に戻してほしいという声があったそうです。

次の策の横断歩道につきましては、皆さんから要望いただきましたので、印西警察に確認したところ、交差点につきましては、基本計画では、県警本部の規制課と協議が必要になりまして、規制課の許可を得た段階で初めて設置になります。従いまして、印西警察としては、県の本部規制課と協議する用意はあるということで回答をいただいております。

信号につきましては、交差点のそばに信号がありますと、逆に交通渋滞等を招きまして、事故等が発生する恐れがあるということで、県警察では、現在の信号から250メートル以内につきましては、新たな新設はしないということを聞いてきたところです。

警察も実際現地を確認しましたが、250メートルない状態でした。警察でそういった内規がありますので、これについては、ご了承願いたいということで、話を伺ったところです。

・市民

ただ横断歩道だけだと、重大事故が発生する恐れがあると思います。それでも許可をしないというのが、警察の見解ですか。

・市民経済部長

現段階だとそういう見解になります。

・市民

西白井1丁目、2丁目、3丁目、あの新しい道路に抜ける車が風間街道、大松を通って行きます。だから、交通量物すごく増えているのです。交通量が多いのに中学生がそのまま来て、横断歩道のみで途切れたところを渡ろうなんていうのは、あの時間帯では死ねというのと同じです。

・市民

押ボタンではダメなのでしょうか。

・市民経済部長

基本的には同じ理由でダメだと思います。

・市民

大松の交差点のところに自転車がたまってしまう問題と、歩道を走ってきた子供たちが、右寄りで大松地区へ入るところを一旦停止しないで、ほとんど突っ込んでくる問題の二つがあります。車も停止ラインで停止してくるのはゼロです。いわゆる車道確認のところまで前に出てきます。

事故が表立ってはいないのですが、これは遅かれ早かれ、車と自転車ないし子供たちと歩行者で人身事故は起こると思います。現実、警察沙汰にはしていないようですが、転倒してけがをしたというご婦人もいます。実際子供たちの登校を一度見てもらったらと思います。

横断歩道があるだけでは、子供たちは渡り切れません。この富士地区のあそこを通る中学生何名おられると見ていただけますか。

・教育部長

300人くらいとみています。

通学につきましては、その都度、指導をしています。再度学校には指導をしていただくようにいたします。

・市民

今までは校長先生がいつもは立っていました。やはり人手でカバーするのではなくて、設備でカバーできるのであれば、当然、設備の方がもっといいわけです。押しボタン式なら、交通渋滞を起こすような話になり得ないと思います。

・市長

横断歩道をつくって、そこでシルバーさんや、皆さんの協力を得て、通学、帰る時間帯の安全確保いたします。まずできることからやります。

あと、内規だということですので、警察にも粘り強く何度も信号等をお願いしています。

・市民

この外周道路について、一方の交通量が少ないのは、道路計画の設計段階とかなり違ってきており、国道464号線から16号線へ抜ける道路ができたことが原因かと思われます。風間街道の前後の道路にヒビ割れがあり、道路に面したところに住んでおられる方は、普通の車ならあんまり響かないが、大型が通ると地震のように響きます。

国道464号線の向こう側は全面的にこの前、舗装し直しましたが、こちら側は全面的に塗りかえる計画はあるのですか。水たまりのようになってしまっていて、部分修正ではきかなくなっています。住宅のガスの関係で掘ったりすると、道路というのは、堺ができ振動になるのです。この前、ガスの工事で部分的に修理したが、それでもガタガタです。

道路管理の予算を、どこにどう使うかの話だと思いますが、抜本的な舗装というところに計画を格上げしていただいて、住民にいつごろになったらできるということをお話していただければ、安心します。今のところ、何を言ってもそのままなので、改善をよろしく願います。

・市民

大山口中学校の前をずっとおりたところの向こうから道路を直し、非常に住民は喜んでおりますので、お礼をまず言っておきます。ただし、その間で、大型トレーラーが入るので、早目に国道16号線から向こうを整備していただきたい。

・市長

前は農免道路だったのですが、市道に格上げされましたので、現在、測量を始めまして、アクセス道路するというような形です。

・市民

それをやることによって、向こうは非常に工業団地へのアクセスがよくなると思います。工業団地が今まで10億円の税金を払っているが、これが20億になるような施策を考えていただきたいなと思っています。工業団地の整備もあるでしょうし、それから区画整理も、ここはやらないといけないと思います。これをやらない限りは、今の時代であそこではもう産業、工業というのは、成り立たないと思います。それに合わせて農業も産業化するということが非常に重要なのではないかと思います。

広報しろいに載っていた、若い世代が定住するプロジェクトを組んでいますが、働く場を生み出すまちづくりをしない限りは、若い人は定住しないです。現実にはオランダは九州ぐらいの大きさしかないが、世界第2位の農業輸出国になっているということをもっと真剣に考えないといけないと思います。それは、農業が産業化されて26ヘクタールぐらいの一つのハウスをつくっているわけです。もっと抜本的なやり方をしないと、難しいのではないかと思います。

東京圏から30キロ離れているだけだから、まだいいですが、人口は減る段階、特に若い人が減る段階になってきた時に、高齢者だけの市になるのではないかという危機感があります。

白井市というところは非常に緑豊かなところで、メダカや蛭がいることだって東京人からすれば、ものすごい環境です。それをもっと生かしたいと、常々思っています。

・市長

農業に力を入れており、集約して大規模化ですが、まずは農業を絶やさないために後継者育成等、できることを行っております。今、行商グループを回しており朝、取れた野菜等を、お年寄りやニュータウン向けに地産地消を進めています。

今年はモンゴルに行って、モンゴル大使と話して、場合によっては、ウランバートルで白井の物産展をやってもいいというアドバイスをいただきました。貿易で稼ぐわけではないので、話題性をつくって、白井の梨が世界でも売れているとなれば、単価が高くなり、ブランド化されます。農業を維持するには農業収入を高くしなければならないが、白井は耕地面積が少ないですから、収穫量は変わらなくても、単価が高くなれば収入が増えます。将来的にはどんどん高齢化していき、自分のうちでは農家はできなくなってくるので、農地を貸して、貸した収入で、その人はある程度、収入の足しにして、そこを組合や法人、場合によっては会社でやってもらうという、そういうことも今進めていきたいと思っています。

何よりも今、子供の教育だと思っており、3年前から小学校6年と中学校3年に社会科特別授業を行っています。工業団地に300社あって、7,000人の人が働いています。今統計をとっているのですが、恐らく2割から2割5分ぐらいしか白井市にいないのです。

増えればライフワークバランスもよくなるし、スカイツリーの鉄骨をつくったり、深海1万メー

トルで使える部品を造ったり、いい企業がたくさんあります。ただ、ミスマッチで、事務系や営業、経理をやりたいという人は、なかなか募集がなく、受け入れ体制をつくってくれと話をしています。私はそういうことをしたいと子供たちに教えています。

そのほかに農業についても教えていますし、時間がかかると思うのですが、子供のうちからそういう情報を教えるということと、農家の人たちにはこういう土地の集約があるので、何とか協力してもらいたいということです。

これからの農業のために、皆さんにお願いしたいのは、行商が来たら買ってやってください。今、当面の売り上げは、日に5万円を予定しているのですが、届いていないです。場合によっては、4万円を割る日もあります。これが5万円に届けば、もう一台買って、もっと回れます。そうすると、地産地消がもっと進んでいくので、ぜひ、そういうのが来たら買っていただけると助かります。そういうふうに市民が、私も含めてできることをやって、この地域がもっと活気がある地域になればなと思っています。

時間がかかるのですが、目標は人口を減らさないで、現状維持ぐらいで持続あるまちづくりができて、次の世代に、子の世代に、孫の世代に、この美しい白井市を引き渡せればと考えていますので、ぜひ皆さんのご理解とご支援いただきたいと思います。

・市民

行商の方には、ここの駐車場を利用させていただいているのですが、地理的に大松の地区のはずれです。道を渡ってこないといけないので、「公園でやれないか」という話がよく出ます。公園というのは、公園法が、これは市の条例なのか、国の法律なのかわからないけれども、あそこで営業行為できないことになっています。一方でそういう努力されているのだから、本当はあそこでやってもらった方が、利用者も、販売する方も、いわゆる地域の真ん中でできます。いろいろなものの足かせをとり外す工夫はないのですか。

・市長

これからは、農家や市も、生き残りをかけて戦っていかなければいけないので、職員には法律違反はダメですが、グレーならば、行ってもいいのではないかといいことを言っています。

今の話も参考にさせていただいて、地域の皆さんのご協力、ご理解を得られれば考えられると思います。

・市民

ゴミゼロ運動が、秋は市の主催でなくなりました。事業仕分けの結果に対するものですか。

市の主催のものに参加するということに意味があります。いい習慣でコストがそんなにかかるとは思えないです。

・総務部長

みんなの負担が大変だということで、基本的にはやめていますが、各自治会でやりたいということであれば、市も協力してやっていると思います。

・市民

環境問題が出ましたので、お願いなのですが、大松は夜、非常に暗いです。今LEDでやると、電力は半分になって、非常に明るいということで、いろいろな市町村で、町全体をLED化する予算措置をしているとニュースで出ていました。

犬の糞は自分で片づけましょうと言って、環境課でもパンフレットや看板は立てていますが、その看板だって要求をしないと立ててくれないです。犬を飼っている人にもっと指導を強化するような措置をしていただきたいです。我々がやると言っても、いろいろな制約があり、近隣のトラブル等いろいろな問題がありますので、行政の力でやってほしいところです。

・総務部長

犬の場合には、毎年多分4月に狂犬病の予防注射ありますので、その時に周知していければと思います。

・市民

3割ぐらいの人がやっていないです。スコップだけ持っている人がおり、舗装道路ですから、犬の糞を埋める場所はないわけです。だけど、あたかも糞の処理しているように、スコップだけ持っている飼い主が目立ちます。

そういう飼い主を見かけるので、我々も見れば注意するのですが、そういうマナーの悪い人は結構いるので、もうちょっと行政から強力な指導をしていただきたいです。

・市長

行政でできるところというのは、ある程度制限もあるし、全体で言うと、今は個人情報がかかなり厳しい、行政がかかなり厳しく監視されているので、なかなかこっちも言いたくても言えない部分があります。

それから、子供の関係、安心・安全ですが、公園等でボールを投げてケガした時に、その親に対して、多額の損害賠償請求がされます。そして、市にも管理責任がとられます。昔であれば、ケガをしたら、自分が悪いと言っていました。それがもう社会責任になってきているので、制約しなければならぬ状況です。

その中でやっていくしかないの、個人情報にしても、安全にしても、できる範囲でやっていこ

うということで、それには市民の皆さんの協力が必要なのです。一緒になって、理解し合ってやっ
ていかないといけないので、そのためにこういうタウンミーティングをして、お互いに対応しなが
ら、一つでも二つでも理解し合えればと思っています。今日は、大変すばらしい、いい貴重な意見
をいただいたし、市としても気がつかないところがありました。一つ一つできることはすぐやり、
時間のかかることは時間をかけても、ずっとトライしていくという姿勢をとりますので、これから
も、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

今日は長時間にわたり、大変ありがとうございました。いろいろありましたら、電話、手紙等
も結構ですので、ご連絡をいただければと思ひます。

以上